

主な内容

- 交通規制にご協力を-----2面
- タウンミーティングを開催します--2面
- ボランティアを始めませんか ---3面
- 子どもの好奇心を刺激するアトラクション -4面
- 乳がん個別検診が始まります ---5面
- 恒例の一茶双樹まつりを開催 ---6面
- 利根運河シアターナイト2013 --8面

10月20日(日)

官民一体による過去最大の防災訓練

防災行政無線が聞こえたらぜひ訓練に参加を

メイン会場：市総合運動公園陸上競技場
サブ会場：新東谷防災広場
サブ会場：新川耕地スポーツフィールド

10月20日(日)に、これまでにない大規模な防災訓練を行います。市だけでなく、警察、自衛隊、公共機関やNPO、自主防災組織など19団体が参加し、災害時の連携強化を図ります。

当日8時20分に防災行政無線で放送する緊急地震速報(訓練放送)をもって訓練を開始します。放送が聞こえたら、皆さんも実際の大地震を想定した行動をとり、ぜひ訓練に参加してください。

☎防災危機管理課 ☎7150-6312

8時20分に防災行政無線で緊急地震速報を放送します

身の安全を守ることを最優先に大地震を想定した行動をとってください

今回の訓練は大地震を想定しています。地震発生時には、次の①～④の流れが基本となりますが、今回の訓練では①と④を実施し、本市唯一の広域避難場所(注)である市総合運動公園の陸上競技場にぜひ見学に来てください。

①地震発生直後

1. 屋内にいる場合は、窓ガラス、家具、照明の下から離れましょう。
2. 机の下などに潜ったり、かばんなどで頭部を守りましょう。
3. 運転中の場合は停車してエンジンを止め、揺れが収まるまで車内にとどまりましょう。
4. 屋外にいる場合は、狭い路地、塀、建物などから離れましょう。



②揺れが収まったら ※今回の訓練では実施しません

周囲の状況を確認しましょう。逃げ遅れた人がいる場合などは救出活動を、火災が発生している場合は初期消火を、それぞれ周囲の人と協力しながら行ってください。

③自主防災組織(自治会)の活動に協力する ※今回の訓練では実施しません

責任者の指示に従い、組織的に活動してください。

④火災などの危険が迫っている場合

徒歩を基本とし、非常用持ち出し袋などを持って、(広域)避難場所へ避難してください。

注:通常の避難場所が大規模災害などにより危険な状態にある場合に、最終的に避難する場所です。

地域の力が防災を育てる

今回の防災訓練に参加する

宮園自治会自主防災会会長 鈴木幹雄さん

市の防災訓練に参加することになり、大変意義を感じています。大規模な官民での連携訓練などは、私たちだけでは行えませんし、実際の連携を確認することは市民として大きな安心につながります。

しかし、市や県など大きい組織になるほど、家の一軒ごとにすぐさま対応することは困難になりますので、やはり防災の基本は私たち地域の住民による活動だと思っています。

防災訓練や救命講習など、地域の防災への活動を通じて思うことは、地域のつながりがとても大切だということです。日ごろから隣近所を気にかけていれば、災害時に特に助けが必要な人の情報などを自然と地域で共有できるようになります。そういったことから地域の防災は育っていくのだと思っています。



訓練内容

※当日の内容は変更になる場合があります。

市内でマグニチュード7.3の直下型地震が起こったことを想定し、市、消防、警察、自衛隊などの連携強化を目的とした実地的な訓練です。災害非常食の試食や小型無人ヘリコプターの展示なども行います。なお、手話通訳と要約筆記も行います。

▶8時20分～9時20分 地震発生時訓練(市内全域)

防災行政無線で緊急地震速報を放送します。その後、安心メールや広報車、安全パトロール車などで避難(訓練)を呼びかけますので、できる限り、市総合運動公園まで見学に来てください。その際、可能な方は徒歩でお願いします。徒歩が困難な方は公共交通機関をご利用ください(駐車場はありません。駐輪場も極めて限られます)。

▶9時20分～9時30分 開会式

メイン会場の市総合運動公園で行います。

▶9時30分～10時10分 報告・要請訓練・被害状況確認訓練

市内各施設から災害対策本部へ被害状況が報告され、関係機関へ協力を要請します。パトカーや自衛隊車両が市内を走り被害状況を確認。また、日本アマチュア無線連盟千葉県支部の協力のもと、アマチュア無線を用いた情報通信訓練を行います。

無人ヘリコプターが撮影した映像を会場で中継

千葉大学野波研究室で開発された小型無人ヘリコプター「ミニサーベイヤー」。カメラを搭載し自律飛行が可能のため、人が立ち入れない場所での撮影が可能となります。今回の訓練では、野波研究室の協力で、ミニサーベイヤーが会場を飛び回り、撮影した映像を会場のテレビモニターに映し出すデモンストレーションを行います。



▶10時10分～10時30分 消防訓練

消防署、消防団、自主防災組織が連携し、消防活動訓練を行います。

▶10時30分～10時40分 救助訓練

消防署、自主防災組織、自衛隊、救助犬協会などが、がれきの中のケガ人捜索や救助を行います。



▶10時40分～11時20分 救急訓練・救急搬送訓練

市内の医師会や自主防災組織、自衛隊などが、ケガ人のトリアージ(優先度を定める識別救急)から救急治療まで行います。その後、ヘリコプターで空から患者を吊り上げ、新東谷防災広場まで移送します。さらに救急車での移送も行います。



▶11時20分～11時25分 避難所の報告訓練

各避難所の状況を災害時でもつながりやすいMCA無線で、災害対策本部へ報告します。

▶11時25分～11時30分 物資輸送訓練

流山トラック事業協働組合と連携して、メイン会場とサブ会場の間で、トラックでの物資の輸送訓練を行います。

▶11時30分～11時50分 応急復旧訓練

道路、電気、ガス、水道などの生活に必要なインフラの復旧訓練を行います。

▶11時50分～12時 閉会式

メイン会場の市総合運動公園で行います。

おいしい! ぜひ災害用 備蓄食料のご試食を

災害に備えて市が備蓄しているアルファ米(五目ごはん)を約1,000食(先着順)用意しますので、ぜひご試食ください。各家庭では、最低3日分の食料の備蓄をお願いします。

